

(2) 関係人口の創出と観光・交流の拡大

- ⑧東京2020オリンピック聖火リレー等企画事業 (19百万円)
- ⑧二次交通インバウンド対応支援事業 (29百万円)
- ⑧宮崎をこころの「ふるさと」に！関係人口創出事業 (7百万円)
- 祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク活用促進事業 (8百万円)
- ⑧「アーツカウンシルみやざき」設置事業 (8百万円)
- ⑧みやざきの「宝」を世界ブランドへ！神楽の魅力発信推進事業 (11百万円)
- ◎2020国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭開催準備事業 (200百万円)
- ◎2026国民体育大会、全国障害者スポーツ大会開催に向けた取組 (405百万円)
- ⑧アクセシビリティマップ構築事業 (22百万円)
- ◎国立公園満喫プロジェクト推進 (126百万円)
- ⑧サイクルスポーツ誘客促進事業 (5百万円)
- ⑧稼ぐ観光地域づくり推進事業 (6百万円)
- ⑧個人旅行をターゲットとした観光地域づくり事業 (52百万円)
- ⑧ゴールデン・スポーツイヤーズ誘客強化事業 (47百万円)
- ⑧「Welcome to みやざき」海外プロモーション事業 (47百万円)
- ⑧訪日外国人等おもてなし環境緊急整備事業 (10百万円)
- ⑧東京オリパラ等合宿誘致・受入推進事業 (90百万円)
- スポーツランドみやざき誘客促進事業 (42百万円)
- ⑧協定締結都市等との交流促進事業 (2百万円)
- ⑧ひなた宮崎情報発信強化事業 (34百万円)
- ⑧宮崎の魅力を活かす農泊地域総合支援事業 (13百万円)
- 世界農業遺産（G I A H S）地域力育成支援事業 (26百万円)
- ⑧宮崎駅西口駅前広場整備事業 (30百万円)
- ⑧旅する美術館・わくわくアート（タビビ）事業 (4百万円)
- ⑧西都原古墳群史跡整備推進事業 (17百万円)

⑨東京2020オリンピック聖火リレー等企画事業（総合政策課） 19百万円

東京オリンピック聖火リレーに係る本県のルート・セレモニー・ランナーなどの案について、県実行委員会で検討を行い、(公財)東京オリンピック・パラリンピック大会組織委員会（以下「組織委員会」という。）へ提案するとともに、本県の持つ魅力を国内外へPRできる聖火リレーの実施につなげる。

- (1) ルート案の検証・調整
ルート案の検証作業、組織委員会や関係機関との協議・調整
- (2) セレモニーの企画
出発式やセレブレーション（到着時セレモニー）の内容についての企画検討
- (3) 聖火ランナー及びボランティアの公募
聖火ランナーの公募及び聖火リレー実施時のボランティアスタッフの公募
- (4) 関連イベントの企画
県全体の機運醸成を図るための関連イベントについての検討

Hope Lights Our Way

— 希望の道を、つなごう。 —

2020年聖火リレーのコンセプト



1964年の聖火リレーの状況（県庁前）

⑨ 二次交通インバウンド対応支援事業（総合交通課）

29百万円

個人旅行客の急増に加え、2020年東京オリンピック・パラリンピック等の開催により更なるインバウンドの増加が見込まれる中、喫緊の課題である宮崎空港等と観光地を結ぶ二次交通の機能を強化することにより、県内観光入込客数を増加させるため、交通事業者等と連携した環境整備や情報提供を実施する。

(1) 実証運行調査への補助

空港等と観光地を結ぶ路線バスの実証運行調査に対する支援

- ・実施主体 交通事業者（補助率 1/2以内）

(2) 旅行環境整備への補助

案内表示等の多言語化、二次交通のダイヤ及び乗継に関する情報提供の強化（経路検索サービス充実化）、車両へのWi-Fi設置など旅行環境の整備に対する支援

- ・実施主体 交通事業者（補助率 1/2以内）

(3) 企画乗車券販売促進への補助

二次交通乗車券と宿泊・飲食等をセットにした企画乗車券、複数の二次交通乗車券を組み合わせたフリー乗車券等の販売促進に対する支援

- ・実施主体 交通事業者等（補助率 1/3以内）

(4) 情報発信強化への補助

海外メディア等の活用による二次交通と観光情報を一体化した情報発信、海外での二次交通乗車券や観光商品等のPRに対する支援

- ・実施主体 交通事業者等（補助率 1/3以内）

※(1)～(3)は県が選定するモデルルートで実施予定



経路検索サービス充実化のイメージ

宮崎ブーゲンビリア空港からのアクセス

Access guidance from Miyazaki bougainvillea airport

バスのりば Bus Stops 버스정류장	行先 Destinations 목적지	バスのりば Bus Stops 버스정류장	各バス停の主な行き先(観光地を含む)を多言語で表示
① 市街地	宮交シティ Miyako city 미야코시티 宮交City 宮崎駅 Miyazaki Sta. 미야자키역 宮崎車站 小林市 Kobayashi City 고바야시시 小林市 青島 Aoshima 아오시마 靑島 鶴戸神宮 Udo Shrine 우도신궁 鶴戸神宮 飢肥 Obi 오비 飢肥 西都原古墳群 Saitobaru Burial Mounds 사이토바루 고분군 西都原古墳群	③ 都城	都城市 Miyakonojo City 미야코노조시 都城市 シーガイア Seagaia 시가이아 喜凱亞
② 南・西都	西都原古墳群 Saitobaru Burial Mounds 사이토바루 고분군 西都原古墳群	④ その他	延岡市 Nobeoka City 노베오카시 延岡市

バスのりば
Bus Stops
버스정류장
巴士站牌

TAXI

現在地
You are here
현위치
現在位置

宮崎ブーゲンビリア空港
Miyazaki bougainvillea airport
미야자키 부겐빌레아 공항
宮崎九重葛機場

現在地とバス、タクシー、鉄道のりばの位置関係をピクトグラムを活用して表示

識別しやすいようにバス停をナンバリング及びカラーリング

多言語による二次交通案内板のイメージ

⑨宮崎をこころの「ふるさと」に！関係人口創出事業（中山間・地域政策課）
7百万円

首都圏の若者等が宮崎に関心を寄せ、つながる機会を提供することで、「宮崎を応援したい」という想いを醸成し、関係人口の創出と将来の移住につなげる。

(1) SNSを活用した情報発信【宮崎に惹き付ける】

マイクロソフト社と連携して制作したSNSコンテンツ「りんなの社会科見学」の利用を促進し、本県の魅力（自然・食材）を効果的に発信

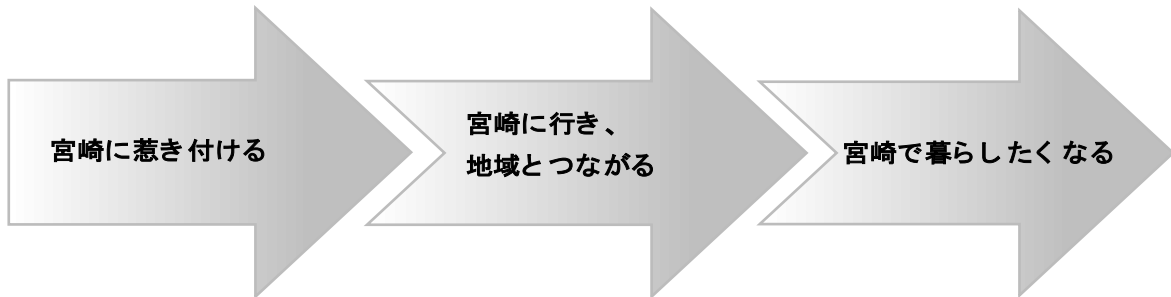
(2) 県外の若者を対象としたワーキングホリデーの実施【宮崎に行き、地域とつながる】

県外の若者が働いて収入を得ながら一定期間本県に滞在するワーキングホリデーを県内全域を対象に実施し、県外の若者と地域がつながる機会を提供

- ・就業先等 業種や実施期間について多様なプランを提示
- ・支援内容 参加者への宿泊費用の助成等

(3) 市町村とつながる機会の提供【宮崎で暮らしたくなる】

都市部での移住相談会を市町村と共同で開催し、移住希望者が市町村とつながる機会を提供



SNSを活用した情報発信	県外の学生等を対象にしたワーキングホリデー	市町村とつながる機会の提供
<p>○利用者が楽しみながら本県の魅力を学ぶLINE上のコンテンツ「りんなの社会科見学」の利用を促進</p> <p>○効果的に宮崎の魅力を発信し、宮崎への興味・関心を喚起</p>	<p>○県外の若者等が働きながら一定期間滞在し、地域での暮らしの魅力を体感</p> <p>○参加者と地元住民を対象とした交流イベントを開催し、絆を深める機会を提供</p>	<p>○都市部の居住者が市町村担当者と直接話をする機会を提供し、宮崎への移住を促進する</p>



りんなの社会科見学



椎茸農家で働く都市部の若者

○祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク活用促進事業（中山間・地域政策課）

8百万円

祖母・傾・大崩ユネスコエコパークを生かした自然環境保全や国内外への情報発信等の取組を推進し、貴重な地域資源の次世代への継承や地域への誘客促進を図る。

(1) 関係機関との共同による取組の推進

祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク推進協議会に対して負担金を支出し、主体的な運営を通じて各種取組を推進

(2) 情報発信事業

本県エリアに関する情報発信やモニターツアー等を実施することにより誘客を促進

祖母・傾・大崩ユネスコエコパークの取組と主な実施主体

祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク推進協議会

構成：宮崎県、大分県、関係4市・2町、国（林野庁）、学識経験者、住民代表等

- ・自然環境調査（学術調査）への支援
- ・登山者に向けたマナー啓発
- ・ホームページ、パンフレット制作
- ・ユネスコエコパークの情報発信・広報
- ・住民・団体のネットワーク化
- ・次世代育成に向けた体験学習事業 など

県

- ・本県内のエリアに関する情報をエリア外に向けて発信（登山専門誌等への掲載、イベント出展等）
- ・県外在住者等を対象としたモニターツアーの実施

市・町

- ・各市・町エリアにおける普及・啓発、情報発信等の推進
- ・受入環境・基盤の整備（ガイドの養成、案内板の設置、拠点施設の整備等）
- ・住民・団体の活動への支援

住民・団体

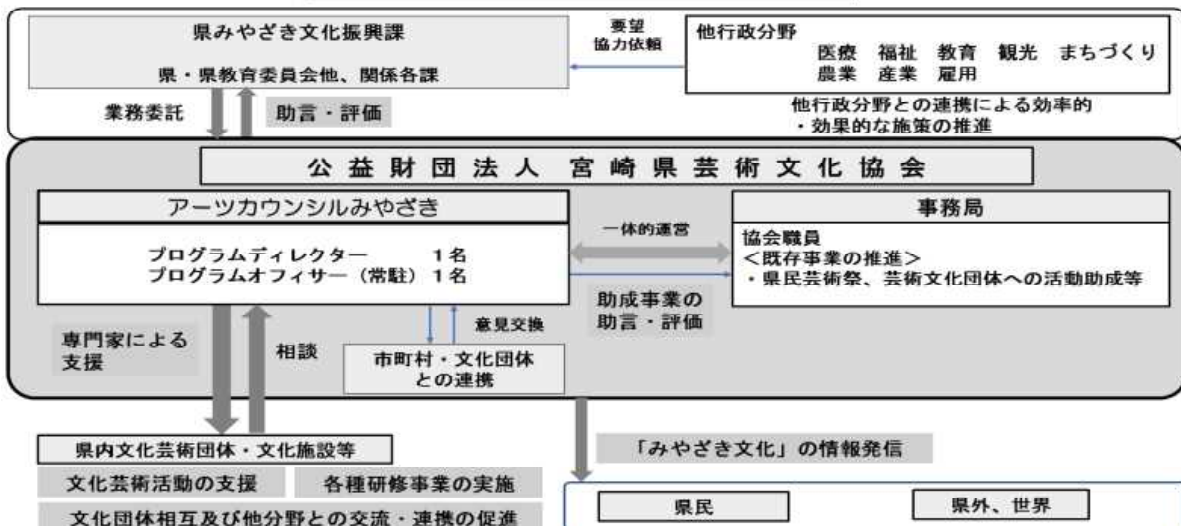
- ・自然保護等の取組を各地域で実施

㊦「アーツカウンシルみやざき」設置事業（みやざき文化振興課）

8百万円

2020年に開催される国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭を契機として、文化活動の推進体制を強化するため、（公財）宮崎県芸術文化協会に「アーツカウンシルみやざき」を設置し、本県文化力の向上と魅力ある地域づくりにつなげる。

「アーツカウンシルみやざき」イメージ図



※「アーツカウンシルみやざき」

文化芸術の専門人材による支援機関。文化芸術の専門家であるプログラムディレクター（1名）及びプログラムオフィサー（1名）を配置し、文化芸術活動の支援や各種研修事業の実施、情報発信、文化団体相互の交流促進等を行う。

⑨みやぎきの「宝」を世界ブランドへ！神楽の魅力発信推進事業

(みやぎき文化振興課 記紀編さん記念事業推進室) 11百万円

2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会や本県での国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭の開催に向け、県外で神楽公演を行うことにより、「神話の源流 みやぎき」のブランドイメージを高めていくとともに、神楽のユネスコ無形文化遺産登録を目指した取組を加速化させ、国内外からの観光誘客を促進する。

(1) 県外（首都圏、関西地区、福岡地区）での神楽公演

首都圏・・・全国神楽シンポジウム（学術シンポジウム・神楽公演）の開催

関西地区・・・包括連携協定を締結した神戸市での神楽公演

福岡地区・・・九州国立博物館（太宰府市）、大濠公園能楽堂（福岡市）での神楽公演

(2) 観光誘客の促進

- ① 首都圏等での神楽公演において駐日外国公館員、外国特派員、留学生等への本県の神楽の魅力発信
- ② 旅行事業者等と連携した神話ゆかりの地や神楽にかかる旅行商品の造成及びホームページ等での情報発信



首都圏（國學院大學）での神楽公演



九州国立博物館での神楽公演

◎2020国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭開催準備事業 200百万円

○国民文化祭開催準備事業（みやざき文化振興課） 185百万円

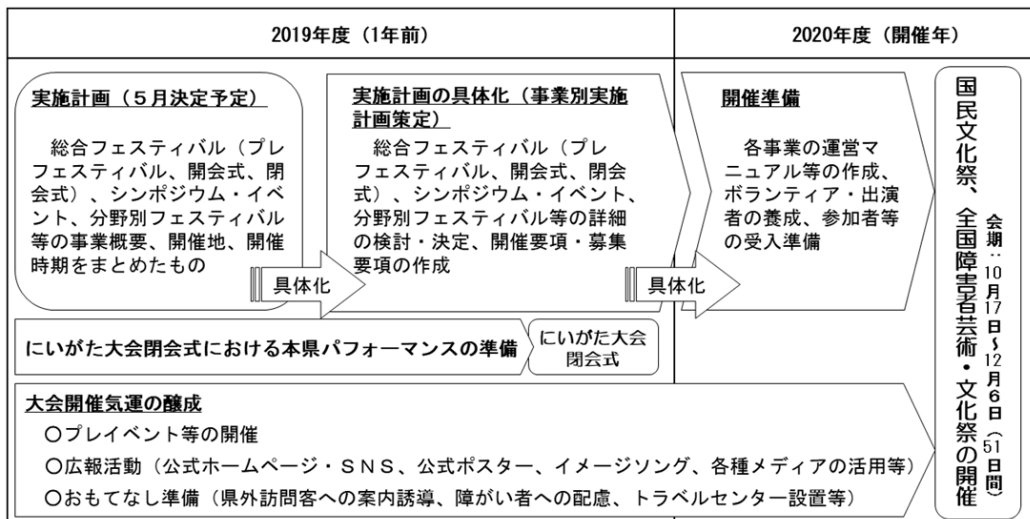
2020年の国民文化祭開催に向け、総合フェスティバルの舞台演出などの具体的な準備を進めるとともに、分野別フェスティバルの準備のために市町村実行委員会へ助成を行う。また、プレイベントの実施や各種メディアを活用した広報により、大会開催の気運醸成を図る。

㊤全国障害者芸術・文化祭開催準備事業（障がい福祉課） 14百万円

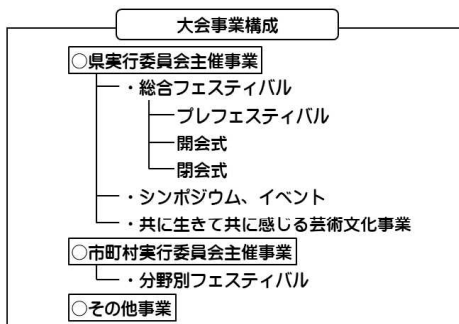
国民文化祭と一体的に開催する全国障害者芸術・文化祭に向け、音楽、演劇、ダンス、美術など各プログラムの具体的な準備を進めるとともに、プレイベントやワークショップ等を開催する。

また、「障がい者芸術文化支援センター」を設置し、美術プログラムの企画を行うとともに、芸術文化活動に関する相談対応等を行う。

第35回国民文化祭みやざき2020、第20回全国障害者芸術・文化祭みやざき大会 開催スケジュール表



大会事業構成及び開催イメージ（イメージは2018大分県大会の様子）



◎2026国民体育大会、全国障害者スポーツ大会開催に向けた取組

405百万円

○国民体育大会事業費（国体準備課）

404百万円

我が国最大のスポーツの祭典である「第81回国民体育大会」（2026年）の本県開催に向けた準備を着実にを行うとともに、県有体育施設の整備を計画的に進める。

(1) 国民体育大会開催準備費

- ① 宮崎県準備委員会総会、常任委員会及び各種専門委員会等の開催
- ② 会場地市町村の選定
- ③ 競技役員等の養成、広報・啓発活動
- ④ 先催県の情報収集、関係機関との連絡調整等

(2) 県有体育施設整備事業

- ① 陸上競技場の基本設計、埋蔵文化財調査等
- ② 体育館の基本設計、地質調査
- ③ プールのPFI整備検討、地質調査



※「国民体育大会」は、2023年第78回大会以降「国民スポーツ大会」に改称される。

㊦全国障害者スポーツ大会開催準備事業（障がい福祉課）

1百万円

「第26回全国障害者スポーツ大会」（2026年）の本県開催に向けた準備を着実にを行う。

- (1) 「全国障害者スポーツ大会推進委員会（仮称）」の設置検討のための先催県の調査や委員の選定等
- (2) 全国障害者スポーツ大会への審判等の派遣による具体的な大会運営の手法の調査・研究
- (3) 全国障害者スポーツ大会の実施種目における必要な競技用具の整備

【第81回国民体育大会・第26回全国障害者スポーツ大会までのスケジュール】

西 暦	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年
開催まで	7年前	6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	当 年
開催地	茨城県	鹿児島県	三重県	栃木県	佐賀県	滋賀県	青森県	宮崎県
開催手続き等		国体における中央競技団体正規視察			国体における文科省・日スポ協総合視察		リハーサル大会	第81回国民体育大会 ・ 第26回全国障害者スポーツ大会
2015年国体開催要望			国体開催申請書の提出					
2015年全障スポ開催要望			国体開催内定		国体開催決定			

※全国障害者スポーツ大会の開催内定及び開催決定は、国民体育大会の開催内定及び開催決定に準ずる。

㊦アクセシビリティマップ構築事業（障がい福祉課）

22百万円

2020年の東京オリンピック・パラリンピックや本県で開催される国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭、2026年の国民体育大会、全国障害者スポーツ大会に向け、観光地や公共交通機関等のバリアフリー情報を掲載したWebサイトやその一部を抜粋した紙マップを作成することにより、障がいのある方や高齢者、外国人などあらゆる人が自らの意思で行動し、快適に生活することができるアクセシビリティの高いまちづくりを推進する。

- (1) 県内施設（観光地・公共交通機関など）のバリアフリー情報等の調査
- (2) バリアフリー情報等を掲載したWebサイトの作成
 - ・文字サイズの拡大機能や音声読み上げ機能等を設け、ウェブアクセシビリティに対応
 - ・多言語表記、ピクトグラムを多用した外国人にも利用しやすい仕様
 - ※ ピクトグラム：情報を文字以外のシンプルな図記号により表したもの
- (3) 紙マップの作成

<ピクトグラムの例>



◎国立公園満喫プロジェクト推進（自然環境課 自然公園室）

126百万円

「国立公園満喫プロジェクト」に選定された霧島錦江湾国立公園において、訪日外国人旅行者等を惹きつける取組を計画的、集中的に実施することにより、外国人を含めた利用者の増加や国立公園を活用した地域の活性化を図る。

㊦国立公園インバウンド受入対策推進強化事業

3百万円

- (1) 国立公園おもてなし強化事業
 - おもてなし店舗、地元ガイド等を対象とした講習会の開催等
- (2) 国立公園魅力発信事業
 - 山の日におけるアクティビティ体験等のイベント開催等
- (3) 西諸地区満喫事業者ネットワーク構築事業
 - 西諸地区の地元観光関係者等による体験プログラムの開発・磨き上げ等

○国立公園整備事業

83百万円

県が行う国立公園内利用施設（遊歩道、休憩所など）の老朽化や案内板の多言語化など外国人旅行者に対応した整備

○国立公園整備支援事業

41百万円

市町村が行う国立公園内利用施設の老朽化や案内板の多言語化など外国人旅行者に対応した整備への支援

- ・実施主体 市町村（補助率 1/2以内）

⑤ サイクルスポーツ誘客促進事業（観光推進課）

5百万円

スポーツバイクで長距離を走行するサイクリストをターゲットとして、風光明媚な景色など本県の優れたサイクリング環境の更なる認知度向上を図り、国内外からの誘客を促進する。

また、九州一周サイクリングルートの構築に向けて本県のモデルルートを設定し、サイクリストの誘客に繋げる。

(1) メディアを活用したプロモーション

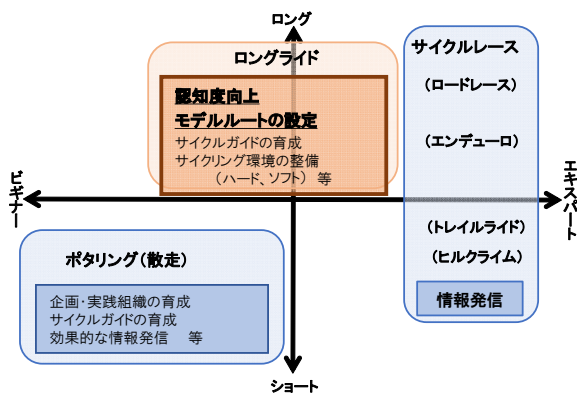
本県のサイクリング環境の認知度向上を図るため、自転車専門雑誌やウェブサイト等を活用したプロモーションの展開

(2) 映像による情報発信

県内の魅力的なサイクリングルートの映像制作及びインターネットや誘客プロモーション等での発信

(3) モデルルートの設定

九州各県との連携を見据えた広域ルートの構築に向けた県内モデルルートの設定



⑥ 稼ぐ観光地域づくり推進事業（観光推進課）

6百万円

「稼ぐ観光」の実現に取り組む市町村等が行う地域の特色を生かした意欲的な取組を集中的に支援し、魅力的で持続可能な観光地域づくりを推進する。

(1) 稼ぐ観光地域づくりアドバイス事業

稼ぐ観光地域づくりに取り組む意向のある市町村等に対するアドバイザーの派遣

(2) 稼ぐ観光地域づくり支援事業

① スタートアップ支援

専門人材を活用し、マーケティングに基づく稼ぐ観光地域づくりのプランの策定から、具体的な取組までを支援

・実施主体 市町村（補助率 1/2以内）

② ステップアップ支援

新たなメニューの開発など稼ぐ観光地域としての更なる磨き上げに繋がる取組を支援

・実施主体 市町村（補助率 1/2以内）

⑨ 個人旅行をターゲットとした観光地域づくり事業（観光推進課） 52百万円

近年、旅行スタイルの中心となっている個人旅行者（FIT）の誘客を進めるため、マーケティングに基づいた観光戦略づくりから人材育成、商品開発、プロモーションに至るまでの一貫した支援を行うことで、個人旅行者に対応した稼ぐ観光地域づくりを県内各地で展開する。

(1) 観光マーケティング事業

宿泊施設等と連携した国内外の観光客のデータ収集及び県内大学等と連携した観光客の動向等の分析

(2) 観光人材育成・商品開発支援事業

観光地域づくりをリードする人材を育成するとともに、市町村観光協会、観光事業者等が行う新たな体験メニュー等の開発にかかる相談支援体制等を強化

(3) 流通支援・プロモーション事業

体験メニュー等の利用促進を図るためのクーポンメニューの開発など流通促進やインターネット等によるプロモーション等を実施

⑩ ゴールデン・スポーツイヤーズ誘客強化事業（観光推進課） 47百万円

ゴールデン・スポーツイヤーズに向け、訪日外国人観光客の大幅な増加が見込まれることから、メディアや民間企業等とも連携しながら、本県の観光地や食などの魅力を集中的にアピールし、本県の認知度向上や誘客を図る。

(1) ワールドサーフィンゲームスやラグビーW杯の公認キャンプ等を生かしたメディアプロモーション事業

① 首都圏在住の外国メディアを対象としたプレスツアーの実施

② 公認キャンプを実施するイングランド代表の取材を行う現地メディアを対象とした歓迎レセプションの実施

(2) 東京オリ・パラカウントダウン事業

東京オリンピック・パラリンピック開催150日前に、新宿みやざき館KONNEやその周辺施設等において民間企業等と連携し、宮崎の集中プロモーションを実施



ラグビー日本代表チームの宮崎合宿決定時の記者会見



リニューアルした新宿みやざき館KONNE

⑨ 「Welcome to みやざき」海外プロモーション事業（観光推進課）

47百万円

ゴールデン・スポーツイヤーズを機に訪日が見込まれる欧米豪等、海外からの観光客に対し、WEBを活用したPRなどを実施し、本県の認知度向上を図るとともに、増加傾向にある個人旅行者（FIT）に対するプロモーションを重点的に実施し、観光客の誘致を図る。

(1) 欧米豪市場誘客対策

欧米豪等の観光客に対し、主たる旅前情報源であるホームページや口コミサイト等のWEBを活用した情報発信や展示会への出展などを実施

(2) FIT誘客強化対策

香港事務所の現地スタッフ等を「MIYAZAKI 観光コンシェルジュ」として位置づけ、直接現地で情報発信を行うとともに、韓国、台湾及び香港などで増加しているFITをターゲットにメディア等を活用したプロモーションを実施



Japan Expoへの出展



メディア招請

⑩ 訪日外国人等おもてなし環境緊急整備事業（観光推進課）

10百万円

ゴールデン・スポーツイヤーズを機に来県する外国人や国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭の開催を機に来県する障がいのある方など誰もがストレスなく円滑な移動や滞在ができるように、市町村等が行う観光案内標識等の多言語化や公衆トイレのユニバーサルデザイン等の取組を支援する。

・実施主体 市町村等（補助率 1/3）



観光案内標識



トイレのユニバーサルデザイン

㊦東京オリパラ等合宿誘致・受入推進事業

(観光推進課 スポーツランド推進室) 90百万円

ラグビーワールドカップ、東京オリンピック・パラリンピック等へ向けた国内外代表チームの事前合宿や大規模大会等を積極的に受け入れることにより、選手・スタッフはもとより多くの観客やマスメディアを呼び込み、経済の活性化を図るとともに、「スポーツランドみやぎ」の更なるブランド力向上へつなげる。

(1) 東京オリパラ等事前合宿の誘致

各国の競技団体等とのネットワークを有する人材を活用し、ターゲットとなる国・競技団体等との交渉や情報収集活動を強化

(2) 東京オリパラ等代表チームの受入

本県の視察や合宿受入、県民との国際交流等に係る費用の一部負担

(3) 大規模大会誘致開催支援

東京オリパラにつながる大規模スポーツ大会の誘致や大会開催に必要な経費の一部負担

(4) 合宿受入施設のグレードアップ

県総合運動公園のクロスカントリーコースの雨天時対策として路面の整地等を実施

(5) ワールドサーフィンゲームス開催

① 東京オリンピック選手選考大会の一つであり、約50カ国・300名の選手が参加する「2019 ISAワールドサーフィンゲームス」の開催支援

② トップサーファーはもとより5万人を超える来場者を通じた本県情報の世界への発信

③ 大会開催に向けた木崎浜の環境整備（トイレ、電源、インターネット環境）等



2017 ISA 世界ジュニア選手権（日向）の様子



トライアスロンカナダ事前キャンプ協定締結式

○スポーツランドみやざき誘客促進事業（観光推進課 スポーツランド推進室）

42百万円

温暖な気候や充実した施設、スポーツメディカルの取組など本県のスポーツ環境の優位性をアピールしつつ、スポーツキャンプやスポーツイベントの誘致を図るとともに、受入環境の更なる向上により、「スポーツランドみやざき」の推進強化を図る。

(1) スポーツキャンプ・合宿等受入支援

本県で合宿を行うプロスポーツチーム等への激励品贈呈、学生や社会人チームの合宿経費の一部助成

(2) スポーツイベント等開催支援

経済効果の高いスポーツイベント等に対する開催経費の一部負担

(3) 誘致セールス等

学生、社会人を対象にした誘致セールスの実施等

(4) スポーツメディカルの推進

本県でキャンプを実施するアスリートのメディカルチェック費用の一部助成

(5) スポーツによる地域活性化推進

地域活性化につながるスポーツを活用した体験型ツーリズムの推進

㊦協定締結都市等との交流促進事業（オールみやざき営業課）

2百万円

東京オリンピック・パラリンピック等を契機として、協定を締結している台湾新竹県及び桃園市等との交流を深化させ、オリパラ後を見据えた将来の観光誘客の礎づくりを行う。

(1) 高校生相互交流事業

本県の高校生と台湾の高校生との相互交流を通じた、本県の魅力発信や交流促進

(2) 民間団体交流事業

台湾の文化・スポーツ団体等が本県を訪問し、観光・交流を行う際に必要な経費の一部を助成

・実施主体 民間団体等（補助率 1／2）

㊦ ひなた宮崎情報発信強化事業（オールみやざき営業課）

34百万円

観光や食、スポーツなど本県のような魅力や情報を総合的に発信するため、「日本のひなた宮崎県」のプロモーションを実施するとともに、シンボルキャラクターである「みやざき犬」や「みやざき応援団」を活用したPR等を行うことにより、本県の知名度、好感度を高め、地域の活性化を図る。

- (1) 「日本のひなた宮崎県」プロモーションイベントの実施
農産品や加工品等の各種PRイベントを一定期間内に集約する形で実施し、本県の魅力を集中的に発信
- (2) 「みやざき犬」によるPR
 - ① みやざき犬を県内外に派遣し、本県をPR
 - ② SNSや動画配信サイトを活用した情報発信の強化
- (3) 大手企業等とのコラボレーションによる注目される話題づくり
大手企業等の持つ全国的なネットワークや情報発信力を活用し、本県のPRにつながる話題づくりを実施
- (4) みやざき応援団の活用
みやざき大使のイベント等への起用、みやざき応援隊の幅広いネットワークを活用した情報発信により、本県を国内外に発信



みやざき犬による本県プロモーション



大手企業とのコラボレーションによる商品発表

㊦宮崎の魅力を活かす農泊地域総合支援事業（農政企画課 中山間農業振興室）

13百万円

宿泊施設や農業体験等の情報をオンライン旅行予約サイトを活用し効果的に発信するとともに、地域協議会等が他の業種と連携して行う取組などを支援し、農泊を推進することで中山間地域の所得向上と活性化を図る。

- (1) 農泊地域トータルサポート事業
- (2) 農泊クラスター支援事業
 - ・実施主体 地域協議会等（補助率 1／2以内）

農泊を取り巻くチャンス

- ・加速度的に増大する訪日外国人旅行者。田舎体験のニーズも増大。
- ・2018年、住宅宿泊事業法（民泊新法）施行。開業への機運が今までになく高まっている。
- ・2020年、東京オリンピック・パラリンピックの開催。

このチャンスを逃さず宮崎の魅力を活かした農泊を総合的に推進！！

事業概要

【農泊地域トータルサポート事業】

オンライン旅行予約サイトでの情報発信、プロモーション等による農泊推進

【農泊クラスター支援事業】

各地域協議会等が他の業種と連携して行う農泊推進の取組等への支援

○世界農業遺産（G I A H S）地域力育成支援事業

（農政企画課 中山間農業振興室）26百万円

世界農業遺産認定地域を次代に引き継いでいくために、町村が行う地域活性化の取組や聞き書き（注）等による若者育成への支援、大学等との共同研究、国内外のG I A H Sサイトと連携した世界農業遺産のPR活動等を行う。

（注）話し手と聞き手が対話を重ね、語り手の経験や思いの言葉を話し言葉で文章にまとめる手法

- (1) G I A H S活用事業
 - 世界農業遺産を活用した地域活性化の取組を支援
 - ・実施主体 世界農業遺産高千穂郷・椎葉山地域活性化協議会（補助率 1／2以内）
- (2) G I A H S人材育成事業
 - 世界農業遺産認定地域の人材育成のための活動支援
 - ・実施主体 世界農業遺産高千穂郷・椎葉山地域活性化協議会（補助率 1／2以内）
- (3) G I A H S連携事業
 - 国内外のG I A H Sサイト等と連携した活動支援



特産品ブランディング
（G I A H S活用事業）



G I A H S教育プログラム
（G I A H S人材育成事業）

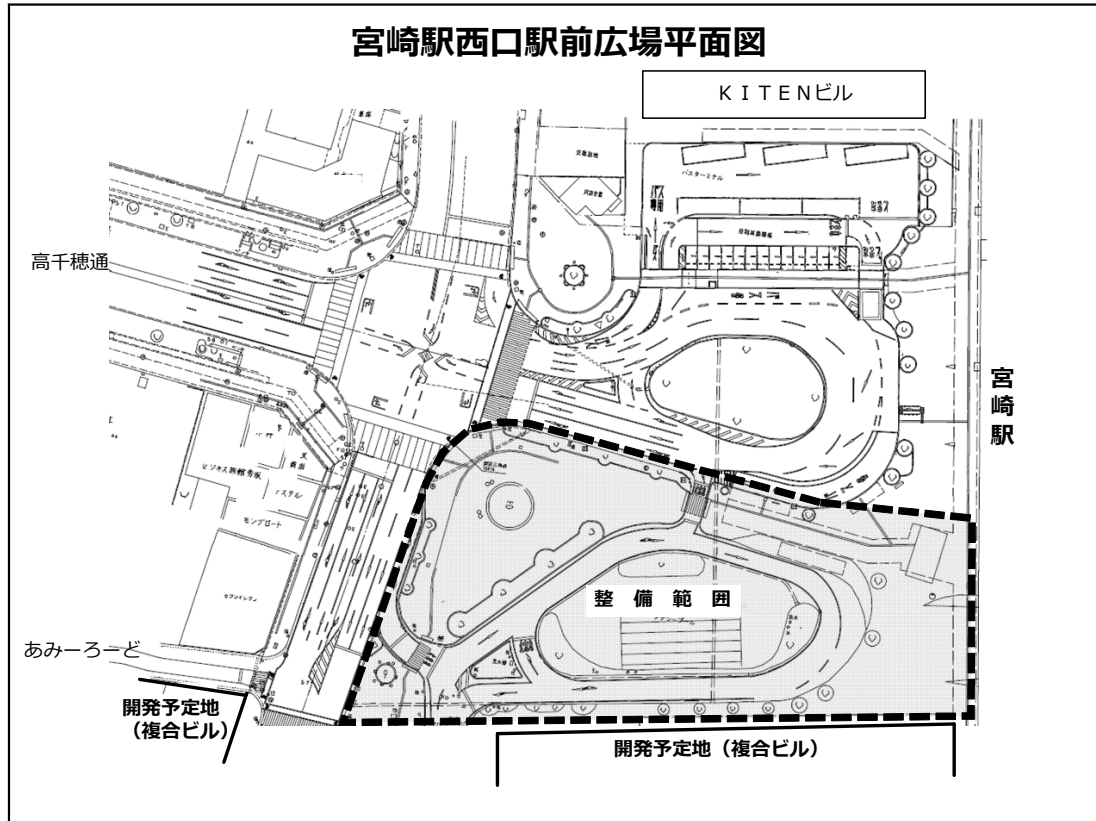


世界農業遺産PRイベント
（G I A H S連携事業）

⑨宮崎駅西口駅前広場整備事業（都市計画課）

30百万円

民間事業者による宮崎駅西口の複合ビル建設に併せ、宮崎駅から中心市街地への人の流れやにぎわいのさらなる創出を図るため、陸の玄関口である宮崎駅の西口駅前広場を再整備するための設計等を行う。



㊦ 旅する美術館・わくわくアート（タビビ）事業（生涯学習課）

4百万円

多くの県民が気軽に本物の美術作品に触れ、創作体験や美術作家との交流等を行う移動型展覧会や作家による公開制作等を実施し、多様な美術・文化に親しむ機会の充実と地域の文化振興を図る。

(1) 旅する美術館

- ① 県立美術館の所蔵作品による展覧会を県内2か所で1週間程度開催
- ② 地域の公共施設等を利用して展覧会を開催し、学芸員の専門的な作品解説等を実施
- ③ 展示作品の理解と関心を高める制作技法等の体験ができる「実技講座」を実施

(2) わくわくアート

- ① 現代美術作家が、本県や展示作品等から着想を得て制作した映像作品等を公開
- ② 作家と地域の人たちが直接触れ合い、交流することができるワークショップ等を開催
- ③ 県立美術館において作家によるトークイベント等を開催

〈事業イメージ〉



旅する美術館



わくわくアート

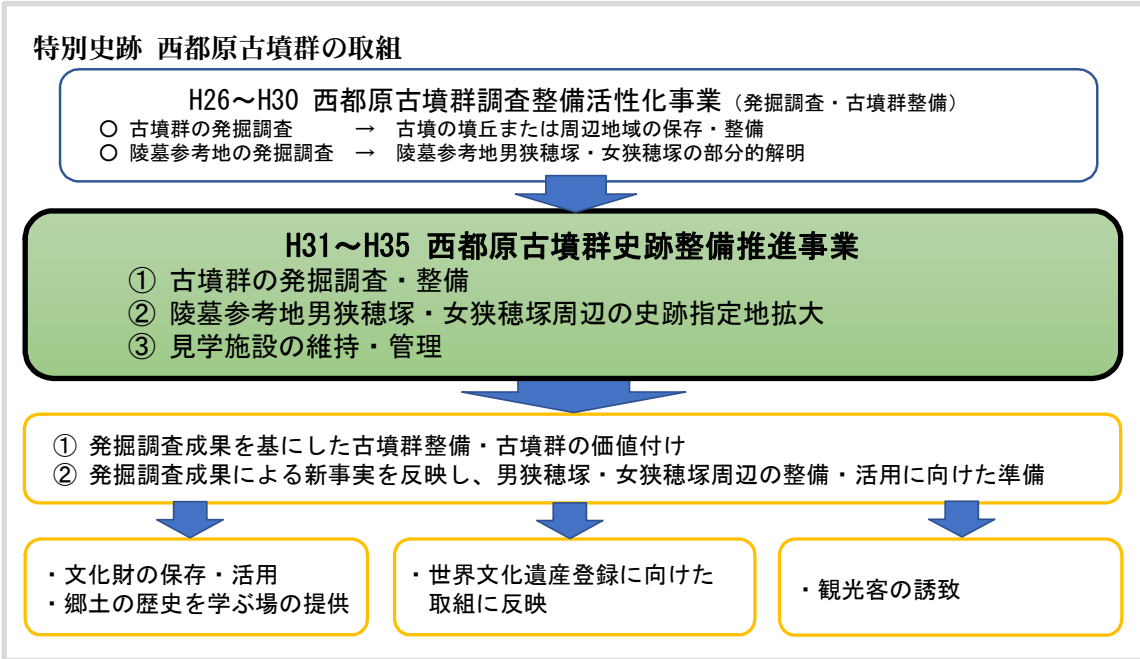
㊦西都原古墳群史跡整備推進事業（文化財課）

17百万円

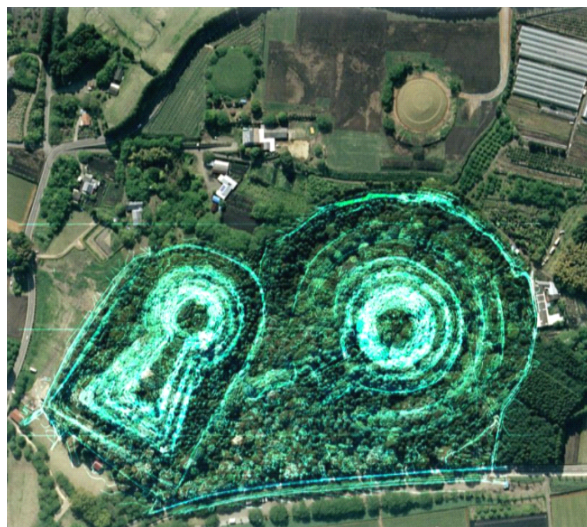
特別史跡「西都原古墳群」をより魅力のある観光資源や学習の場とするため、古墳群の調査・整備を実施するとともに、古墳群の核となる陵墓参考地の男狭穂塚・女狭穂塚周辺の整備・活用を図るため、発掘調査によって得られた成果を基に史跡指定地拡大に向けた取組を行う。

- (1) 古墳群の発掘調査・整備
 - ① 発掘調査
 - ② 既調査古墳の整備
- (2) 陵墓参考地周辺史跡指定地拡大
 - ① 指定予定地の土地調査
 - ② 指定地拡大申請に伴う手続き
- (3) 見学施設の維持・管理

特別史跡 西都原古墳群の取組



西都原265号墳



陵墓参考地 男狭穂塚・女狭穂塚

